

学校通信



喜多見

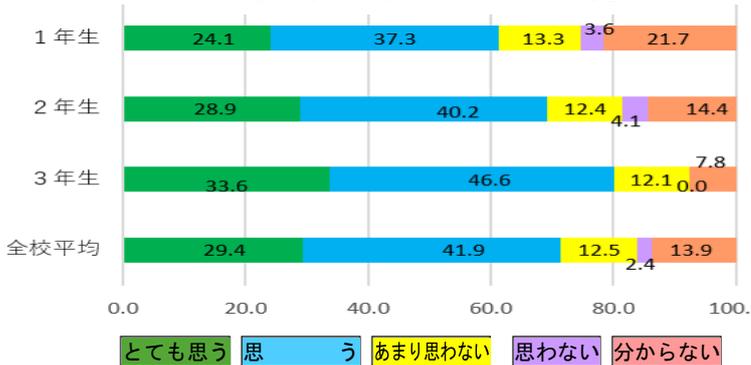


No10 令和8年2月27日
 喜多見の学び舎
 世田谷区立喜多見中学校
 校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
 E-mail: dai131@setagaya.ed.jp http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/

学校関係者評価アンケートから(2) 校長 紺谷 祥一

【自分には良いところがある】



中庭の枝垂れ桜の下に立って見上げてみれば、無数の枝一本一本にびっしりと膨らんだつぼみがあり、春に向かって確実に準備をしている様子が分かります。子どもたちも毎日の学校生活の中で、一人ひとりが確かな成長を重ねています。昨年までは毎朝正門で会釈だけだったのに、今年になって声を張って挨拶できるようになったOさん、普段のおとなしい様子からは想像もできないほど見事なダンスを体育の時間に披露したNさん、道徳の時間にキラ

リと光る発言をして周囲から拍手をもらっていたKさん、合格の報告に来る子たちの中で、残念な結果でも面接練習のお礼に校長室を訪ねてくれたSさん…。生徒たち一人ひとりの日常の頑張りは、本校の誇りです。

私たちは、ともすれば点数や結果に目を向けがちです。しかし、本当に大切なのは、挑戦する勇気、仲間を思いやる心、あきらめずに続ける力だとなつくづく感じさせられます。上手くいく日もあれば、思い通りにならない日もあります。それでも子どもたちは、確実に前へ進んでいます。昨日より今日、今日より明日へと、小さな一歩を積み重ねながら成長します。学校は、学力だけを育てる場所ではありません。人と人とが出会い、支え合い、自分の良さに気づいていく場所です。すべての生徒たちが、「自分には良いところがある」、「友達にも素敵なおところがある」— そう感じられる瞬間が増えていくことも、学校がめざす大切な目標の一つです。

左上のグラフは、昨年11月にご協力いただきました学校関係者評価から、生徒対象の調査の抜粋です。複数の質問がある中で、私が毎年最も注目している項目の一つです。『自分には良いところがある』という質問に対して、3年生たちは、「とても思う」「思う」と、肯定的に回答した割合は80.2%でした。8割の子どもたちが自分の良さに気づき、その可能性を信じて巣立っていく予定です。グラフをつぶさに見ると、3年生では「思わない」と回答した生徒はゼロ。一方、2年生の肯定率は69.1%、1年生にあっては61.4%という結果でした。つまり、学年が上がるにつれて高い肯定率を見て取ることができ、これは毎年の傾向でもあります。「あまり思わない」「思わない」の割合が少なくなることはもちろんですが、どの学年であれ、「分からない」という回答もゼロになるよう、誰もが早く自分の良さに気がつけるよう、応援したいと強く感じさせられます。

今月18日(水)には、喜多見小学校の先生方を招いて本校で「学び舎合同会議」を開きました。「ユニバーサルデザイン」「規範意識」「学習習慣・学習規律(家庭学習)」とともに、この「自己肯定感・自己有用感」も研究の対象として分科会において話し合いをもっています。保護者の皆様はじめ、地域の皆様には日頃より本校の教育活動を温かく見守り、支えてくださっていることに心より感謝申し上げます。子どもたちは、多くのまなざしに支えられながら成長しています。これからも、子どもたち一人ひとりの輝きを大切に学校づくりを進めてまいります。未来へ向かって歩む子どもたちの姿に、引き続きエールをお願いします。



※写真：2年生創作ダンス発表の模様(上)と、「学び舎合同会議」(下)ともに2/18

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（岩原 實之助）

2月4日（木）に、理科の授業「STEAM出張出前講座」として、「教育総合センターらぼらボ」より相場博明先生をお招きし、化石についての体験的な学習を行いました。生徒たちは化石を掘る活動に興味津々で、終始楽しそうな様子が見られました。中には、珍しい植物の化石を見つけた生徒もあり、驚きとよろこびの声が上がりました。

この活動を通して、「百聞は一見に如かず 百見は一労作に如かず」という言葉を改めて実感しました。ここでの「労作」とは単に働くという作業ではなく、体験を通じた創作的な学びのことを指します。生徒たちは、知識として先生の話の聞いたり、教科書を見たりすることよりも、一度実際に体験してみることで、より深い学びにつなげることができたと考えます。本物の化石を自分の目で見て、主体的に体験しながら学ぶ今回の活動は、生徒にとって大変貴重な経験となりました。



2年生の様子から（高須 宏明）

2月20日（金）⑤・⑥校時には、校外学習の事後学習の発表会を体育館で行いました。1月下旬実施の校外学習から一ヶ月もかかり、いろいろと準備で手間取ることや（2月はインフルエンザ等で欠席する人が多かったために）思い通りにまとめが進まなかった向きもありました。確かに、今までチャレンジしたことがほとんどないような取り組みであり、大変だったでしょう。が、各班の発表を見ると、動画の編集などに工夫も見られ、メディアに乗るCMさながらの作品もありました。そして、発表を終えた後の生徒たちには、自分たちが頑張った分の達成感や安堵感に満ちた表情が目立っていました。

3年生ゼロ学期

今学期は、「3年生ゼロ学期」を意識して行動する必要に迫られることが頻繁にあり、この校外学習も「3年生での修学旅行の練習」の意義をもった学習でした。そこで上記のような手応えを得られたことは、来年度へのとてもよい足がかりになったと思えました。一方、教科学習（特にテスト勉強）の方は、自分自身と向き合うことが強いられ、また、結果もシビアに出てくることとなります。が、ここでもいい手応えと3年生への足がかりが得られ、自信をもって進級できる一人一人に成長してくれることを祈っています。いよいよ「魅せる3年生」になるのですから。

3年生の様子から（廣瀬 光恵）

2月の第1週に、学習成果展覧会がありました。3年生の英作文は、今年1年で書き溜めたものの中から、気に入っているものや、よく書けているものを1つ選んだため、トピックは「にくじゃが（My favorite Japanese Food）」「Friends like my family（人物の紹介）」「推し（人物の紹介）」「アメリカ（About my happy time）」「読書（About my happy time）」「修学旅行」と多岐に渡ります。テーマが統一されていなかったため、見学していた生徒の中でこのような会話が合ったそうです。「3年生は何について書いたんだろうね」「これってきっとその人の宝物なんだよ」。生徒が過ごしている何気ない毎日も、振り返ると宝物そのものだな、と卒業を控えた今、あらためて感じています。

入試はやはり今月の大きな山場でしたが、どの授業でも積極的に発言する姿は変わらず、3年生らしくお互いから刺激を受け学び合う姿がよく見られました。現在、教室内には卒業式までのカウントダウンの日数が貼られ、学級委員はこの学年で過ごす最後の時間が充実するよう、一足早く活動を始めています。残り少ないこのメンバーと顔を合わせる日々を、存分に楽しんでほしいと思う毎日です。



E組の様子から（桐山 侑紀）

今学期もあと1か月となりました。3学期が始まってから今日までに3年生は受験という中学校生活で大きな挑戦をした人がほとんどだと思います。1、2年生には1年後、2年後にみんなも受験をして進路を決めていくことになるので、『今できること・今やっておいたほうが良いこと』をしようと伝えていきます。今できることややっておいたほうが良いこととは何でしょうか？そもそも今やらなくてはいけない課題に追われている人もいるかもしれません。この答えが例えば「勉強」だとしたなら、ぜひ今日から取り組みましょう。勉強も人それぞれどの部分を重点的にやればよいかは異なります。まずは自分で①やるべきことを見つける②それを実行する③実行したことを継続する。将来の夢や進路がまだぼんやりとしている人もいますが、進路を考える時に今までの内容が身につければ選択肢に少し余裕や安心が持てるはずですが、来年再来年の自分のために、今できることややっておいたほうが良いと思うことにどんどん挑戦していきましょう！



わたしの きたみち

今号の「わたしのきたみち」は、橋本 ●● さん (R.3 年度卒) からのメッセージ。『自分がどのような場面で力を発揮できるか、考えたことはあるでしょうか。』— 喜多見中での経験がきっかけとなって夢へと向かっている偉大な先輩から、また一つ力強い言葉が届きました！

こんにちは！40 期卒業生の橋本●●です。令和3年度に喜多見中を卒業後、都立神代高校に進学し、現在は東京工科大学で学んでいます。中学時代はパソコン部に所属し、部長を務めました。また、仲間とともに ICT 係 (現・ICT 委員会) を立ち上げ、係長として活動しました。

現在、私は八王子市にある東京工科大学メディア学部在学しています。メディア学部は、「映像」「ゲーム」「サウンド」などのコンテンツ分野、「プログラミング」「人工知能」といった技術分野、さらに「広告」「ビジネスデザイン」など社会分野についても学んでいます。これらに共通しているのは、「人と人をつなげる技術」という考え方です。なかでも特に力を入れているのが、大学の学生放送局「intebro」での活動です。ここではテレビ番組の企画・制作に取り組み、松任谷由実さんの配信コンテンツの制作など実践的な経験を重ねています。企画・撮影・編集までを一貫して学生主体で進めていますが、求められる制作物の水準は高く、大変さを感じる場面も少なくありません。しかし、その環境だからこそ多くの学びがあります。

私がこのようなメディアや映像制作の分野に興味を持つようになった背景には、喜多見中学校での経験が大きく影響しています。40 周年記念式典や地域学習で班ごとに動画を制作し発表した学校行事は、今でも強く印象に残っています。限られた条件の中で「どうすれば伝わるか」を考え、仲間と意見を出し合いながら一つの作品を作り上げていく過程は、表現することの楽しさと難しさの両方を教えてくれました。この経験が、コンテンツ制作に挑戦し始めるきっかけとなり、現在の進路へとつながっています。

中学生の皆さんは、自分がどのような場面で力を発揮できるか、考えたことはあるでしょうか。私の場合、それは ICT 分野でした。部活動や係活動など、日々の学校生活の中にも、自分の興味や得意なことを活かせる場面は必ずあります。ぜひ、自分が役に立てること、夢中になれることを見つけ、全力で挑戦してみてください。その経験は、きっと将来の自分を支える大切な礎になるはずです。



わたしの 授業

先生紹介コーナー「わたしの授業」、今回は E 組の国語を担当する 加納 みちる 先生 (本校での講師 2 年目) の登場です。子どもたち一人ひとりの気持ちを深く理解して受け止める力にあふれる加納先生。いつも優しい眼差しと、どんな時も前向きな言葉かけが印象的な先生です。

授業で一番大切にしているのは、生徒が E 組の教室で安心して学び、過ごせることです。そのためにも、伸び伸びと楽しく取り組める授業をめざし、体験型など、教材をいろいろ工夫してきました。楽しい！の積み重ねで力と自信がついていく国語の授業にしたいと思っています。

次に心がけているのは、生徒一人ひとりの豊かな才能や得意なことを発見することです。実際、E 組の生徒の才能の豊かさに驚かされる日々ですが、こちらの感度を高くしなくては追いつかなくなりそうです。

E 組の生徒は読解力にも優れ、知識も豊富です。お互いの意見を受け入れ、思考し、会話も発展して楽しいです。作文でも、意欲的に小説を創作したり、随筆や俳句に取り組んだり個性を発揮しています。

授業では、新聞記事やコラムを取り上げたり図書室での読書を大切にしたりして、生徒の興味の幅をもっともっと広げたいと思っています。

E 組の生徒はたくさんのことを教えてくれる、私にとっての先生です。面白い本を紹介してくれたり、知らなかったことを指摘してくれたり、常に刺激されるので、もっと勉強しなくては！と思います。

教師としての私の課題は、生徒たちの才能にどう気づき、どう伸ばしていったらよいのかを探し続けることだと思います。もう一つ、子どもたちが伸び伸びと幸せに生きていける社会をつくっていくことも、大人としての使命でもあると思っています。



1 年生 百人一首大会 優勝学級：A 組 百人一首名人：生田 ●● さん (1A)

国語科 渡邊先生からのメッセージ

1/22 (木)、格技室で「百人一首大会」が行われました。競技は「ちらし取り」で行いました。生徒たちは、国語の授業で何度も練習をし、腕を磨きました。当日は A～P の 16 班に分かれて戦いました。A 班は、各学級の精鋭たちを集めた特別班です。この班の中で一番多く札を取った生徒を「百人一首名人」として表彰することとしました。

取り札の枚数がだんだん少なくなっていくごとに、生徒たちの集中力は研ぎ澄まされていき、札を取るスピードは早くなっていきました。札を取った喜びの歓声や、取り損ない悔しがる叫びが、格技室のどこどこから聞こえてきました。優勝クラスは A 組。百人一首名人は A 組の生田満里奈さんとなりました。大いに盛り上がり大変充実した百人一首大会でした。



第3回 多様な学びを考える保護者の会（ご案内）

今年度の第3回「多様な学びを考える保護者の会」を以下の通り開催いたします。ゲストに NPO 法人 まほろび理事長で、著作でも著名な 守矢 俊一 様をお招きし、子どもへの支援の仕方について学びます。有意義な時間となるよう努めます。ぜひ、ご参会ください！

日 時：令和8年3月12日（木） **2/13 すぐーる 参照**
 17時00分から（およそ90分程度）
 場 所：喜多見中学校 2階被服室
 内 容：校長より校内外の体制や方針について **強くお薦め
 します！**
 ゲスト 守矢 俊一 様のお話

東京都立六本木高校の別室事業への支援員の派遣や、不登校生徒の高校進学を考える進路相談会の運営など、30年間にわたり不登校や学校生活が苦手な生徒を対象に、学習支援・進路指導を行う専門家。



日本語「落語講演会」（ご案内）

日本の伝統文化を肌で感じ、豊かな想像力や人間味あるコミュニケーション能力の育成等をねらいに、プロの噺家さんをお招きします。笑いを通して感受性を豊かにし、情景を想像しながら起承転結の論理構成を学びます。

3年生の保護者の皆様はもちろん、学年問わず、また、地域の方々も学校にお越しください。お待ちしております。



日 時：令和8年3月13日（金）
 13時35分から15時25分まで
 場 所：喜多見中学校 体育館
 出 演：柳家 緑也 師匠

どんなことでも、遠慮なくご相談ください！！ 春は変化の多い、ストレスを受けやすい時期です

進級や新生活に期待を感じる一方で、不安や悩みを抱えていませんか？ 思春期は子どもから大人になる移行期。中学生の心と身体には「子ども」と「大人」の特徴が同居し、不安定になりやすい時期です。また、保護者の中にもお子様の心や身体、発達等について気になったり、思春期特有のお子様の言動について悩んだりしていないでしょうか。悩みを一人で抱えることなく、ぜひ、学校を頼ってください。原則、火曜日と木曜日にはスクールカウンセラーが勤務しています。また、本校では**入学を予定されている児童の保護者の方を対象にもご相談を受け付けます**。4月からのスムーズなお子様の生活に向けたサポートができれば幸いです。ご相談は、カウンセラー以外でも、担任はもちろん、副担任、教科担当教員も、また、副校長も、校長も対応します。まずは、お電話をお待ちしています！



学習成果展覧会・学校公開（2月2日～6日）

今年度も各教科の作品だけでなく、喜多見小の代表児童、地域、また保護者の皆様からも非常に多くの出品が集まりました。喜多見中ならではの温かみ溢れる展示会となりました。平日開催にもかかわらず多くの皆様にご来校いただき、ありがとうございます。



3月の予定から

- 3月 2日（月）学年末考査、都立一次・分割前期合格発表
- 4日（水）プラネタリウム（3年生）
- 6日（金）**保護者の会（14時30分～15時40分）**
- 10日（火）都立分割後期・二次（13日発表）
- 12日（木）**多様な学びを考える保護者の会（17時00分～）**
- 13日（金）日本語「落語講演会」13時35分から15時25分まで
- 19日（木）**卒業式**（給食なし）
- 23日（月）午前授業（給食なし）
- 24日（火）大掃除（給食なし）
- 25日（水）**修了式・離任式**（給食なし）



せたおん「学校訪問コンサート」♪♪（3年生）

“見て聴いて参加できるコンサート”として、昨年度も大変に盛り上がった、東京吹奏楽団による**せたおん「学校訪問コンサート」**が今年度も喜多見中にやってきます。保護者ならびに地域の皆様もぜひ、ご参加ください。 **素晴らしいパフォーマンスです！**

日時：3月12日（木）午後2時35分から3時25分まで
 会場：喜多見中学校 体育館 **お誘い合せて、ご来校ください！**

3月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		□		○		
8	9	10	11	12	13	14
		□		○		
15	16	17	18	19	20	21
		□				
22	23	24	25	26	27	28
		□				
29	30	31	1	2	3	4

【担当SC】 □：渡邊 ○：高瀬

【場所】 相談室は中央校舎1階 保健室の隣です
先ずはお電話ください！

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372